

さいたまトリエンナーレ実行委員会 第5回総会

会 議 資 料

日時 平成28年6月27日（月）午前10時～

場所 浦和コミュニティセンター 多目的ホール

さいたまトリエンナーレ実行委員会第5回総会 資料目次

- 議案第1号 平成27年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 議案第2号 平成27年度収入支出決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 報告第1号 さいたまトリエンナーレ2016開催準備状況・・・・・・・・・・ 5
- 報告第2号 さいたまトリエンナーレ2016運営詳細事項・・・・・・・・・・ 9

平成 27 年度事業報告

平成 27 年度の事業について以下のとおり報告します。

1 さいたまトリエンナーレ実行委員会の開催

下表のとおり会議を開催しました。

(1) 総会

	開催日	主な議題・報告事項
第 2 回	平成 27 年 8 月 27 日	・平成 26 年度事業報告・収支決算 ・さいたまトリエンナーレ 2016 開催準備状況
第 3 回	平成 28 年 1 月 28 日	・プレイベントの開催状況 ・さいたまトリエンナーレ 2016 開催事業について
第 4 回	平成 28 年 3 月 24 日	・さいたまトリエンナーレ 2016 実施計画(案)について ・平成 28 年度事業計画案・収支予算案

(2) 運営会議及び幹事会

開催実績なし

2 プレイベント等の実施

(1) プレイベントの実施

さいたまトリエンナーレ 2016 の特色を打ち出しながら、機運醸成を図るため、5 つのプレイベントを実施しました。(詳細別紙資料参照)

イベント名	会期・全体期間	参加者・来場者(延べ人数)
種は船プロジェクト in さいたま	平成 27 年 8 月 17 日～30 日	450 名(うち乗船体験 123 名)
あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き	平成 27 年 10 月 2 日～12 日	3,624 名
HomeBase Project SAITAMA 2015	平成 27 年 10 月 30 日～11 月 27 日	360 名
マイクロ・レジデンス・ネットワークフォーラム 2015	平成 27 年 11 月 22 日、23 日	232 名
リレートーク	平成 28 年 1 月 16 日、3 月 2 日、3 月 13 日	247 名

(2) アーティストの招へい・滞在制作の準備

34 組の参加アーティストを選定し、平成 28 年 3 月 25 日に公表しました。

また、アーティストによる市内・会場候補地の視察を行い、アートプロジェクトの構想立案を進め、年度末までに展示公演プランを作成しました。

(3) 市民サポーターの募集・管理

平成 27 年度は、プレイベント向けのサポーターを募集し、それぞれのイベントで、広報 PR、来場者のサポート、運営支援など様々な活動を行いました。

また、ボランティアポータルサイトである「ボランティアシティさいたま Web」において、トリエンナーレサポーター画面を構築し、平成 28 年 3 月 1 日からは、本展開催に向けたサポーター募集を開始しました。

サポーター登録数 平成 28 年 3 月 31 日 181 名（ご参考 5 月 31 日現在 377 名）

3 広報・プロモーションの実施

ポスター、チラシの制作、市内外各所での掲示・配架などを行った他、市内各所でのイベントでの開催 PR、公式ホームページを立ち上げ、フェイスブックやツイッターなどの SNS を活用した広報 PR を行いました。

また、平成 27 年 7 月 20 日に浦和区に開設した、さいたまアートステーションにおいて、イベント開催や、毎週日曜日午後にワークショップを開催し、多くの方にアート作品制作の楽しさを体験していただきました。

平成 28 年 3 月 25 日には、千代田区の日本外国特派員協会において、開催概要発表会を開催し、26 社 51 名の参加がありました。

(詳細別紙資料参照)

平成27年度収入支出決算

【収入の部】

(単位：円)

区 分	予算額	収入額	予算額と 収入額の差額	説 明
さいたま市負担金	122,265,000	122,265,000	0	
その他雑入	1,000	16,382	-15,382	○受取利息など
合 計	122,266,000	122,281,382	-15,382	

【支出の部】

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	不用額	説 明
委員会運営費	171,000	162,785	8,215	○実行委員会総会開催費
事業企画費	89,904,000	80,570,535	9,333,465	○ディレクター等活動費 ○会場維持管理費 ○文化芸術交流拠点 等
広報関係費	29,000,000	28,494,612	505,388	○広報業務委託費（パブリシティ、ホームページ保守、広報物制作など）
事務局運営費	3,191,000	2,294,874	896,126	○印刷製本費、消耗品費など
合 計	122,266,000	111,522,806	10,743,194	

収入支出差額 収入総額 122,281,382 円－支出総額 111,522,806 円 =10,758,576 円

収入支出差額 10,758,576 円については、さいたま市に返還しました。

さいたまトリエンナーレ実行委員会

平成 27 年度監査報告書

さいたまトリエンナーレ実行委員会の平成 27 年度出納その他の会計事務について、関係書類を監査した結果、収入支出とも適正かつ確実に処理されていることを確認しましたので、報告します。

平成 28 年 5 月 25 日

監 事 橋本 真一

監 事 嶋澤 英雄

さいたまトリエンナーレ2016開催準備状況

プロジェクト準備状況等

1 アートプロジェクト

3月25日にトリエンナーレの開催概要を公表しました。現在、アーティストがさいたま市を順次訪れ、作品制作の準備を行っています。

●与野本町駅～大宮駅周辺（アーティスト6組を予定）

彩の国さいたま芸術劇場や大宮区役所地下食堂、市民会館おおみや地下食堂を会場としてインスタレーション（空間と有機的な関係を持たせて設置する立体作品）の制作・展示を行うほか、大宮小学校の体育館とグラウンドを会場として、NHKの連続テレビ小説「あまちゃん」の音楽を担当した「大友良英」氏による、市民が参加できるライブ演奏会を行います。また、市民会館おおみや周辺エリアでは、作家「磯辺行久」氏による長さ40メートルの大きなエアドームの設置を検討中です。エアドームの内部にも入れる体験型の作品となる予定です。

●武蔵浦和駅周辺～中浦和駅周辺（アーティスト7組を予定）

武蔵浦和駅から別所沼に通じている「花と緑の散歩道」沿いのスペースに、作家「アイガルス・ビクシェ」氏による、サラリーマンが横になっている巨大（長さ9.5m）な立体作品の設置を検討中です。また、埼玉県旧部長第2公舎、別所沼公園を会場として、インスタレーションの制作・展示を行います。

●岩槻駅周辺（アーティスト14組を予定）

旧埼玉県民俗文化センターや民間企業の社員寮を会場として、インスタレーション、映像、パフォーマンス等のプロジェクトを実施します。特に、旧埼玉県民俗文化センターは、おじさんの顔のアドバルーンで知られていますアーティストグループ「目」による、不思議な空間を体験できる鏡を使った大掛かりな屋外作品を予定しています。

●その他（アーティスト7組を予定）

上記のエリア以外においても、様々な場所でアートプロジェクトを実施します。

2 市民プロジェクト

トリエンナーレの趣旨に沿って実施する市民や文化芸術団体等による演劇や作品展示等のアートイベントです。

●文化芸術フェスタ in さいたま

プラザイースト、プラザウエスト、市民会館おおみや、市民会館いわつき、文化センター、与野本町コミュニティセンターを会場として、演劇や音楽等の公演、美術作品の展示等を行うアートイベントです。参加希望者・団体を公募し、実行委員会形式で実施します。（6月募集）

●さいたま市の美術家展

さいたま市美術家協会による日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の展覧会で、埼玉県立近代美術館を会場として、10月10日（月・祝）～10月24日（月）に開催します。

●さいたま市文化協会「文化フェスティバル」

さいたま市文化協会による音楽、舞踊、茶華道、俳句、朗読、美術等のフェスティバルで、「未来の発見！」をテーマにプラザノースを会場として、12月1日(木)～12月4日(日)に開催します。

●アートワークショップフェスティバル

市民参加による水彩画や陶芸、音楽、写真、伝統文化等のワークショップで、市民会館やコミュニティセンターなど、市内18施設を会場として開催します。

3 連携事業

市内の文化施設や企業等、庁内各所管と連携し、トリエンナーレの趣旨に沿って実施する企画展等のアートイベントです。

●埼玉県立近代美術館

埼玉ゆかりのアーティストに焦点を当てた企画展「ニュー・ヴィジョン・サイタマV」を9月17日(土)～11月14日(月)に開催します。

●彩の国さいたま芸術劇場

去る5月12日にご逝去された蜷川幸雄氏の遺志を受け継ぎ、高齢者による大群衆劇「1万人のゴールドシアター2016」を、さいたまスーパーアリーナを会場として、12月7日(水)に開催します。

●鉄道博物館

市民参加で未来の街をつくる「鉄道ジオラマ制作ワークショップ」を実施します。

●さいたま市うらわ美術館

「流れる、変化する」を意味するフルクサス作品を通して「未来の発見」の仕方をたどる企画展示「(仮)未来の発見の仕方：フルクサスの場合」を9月6日(火)～9月25日(日)に開催します。

●さいたま市大宮盆栽美術館

市内の盆栽愛好家による盆栽の展覧会「彩展」を11月25日(金)～12月7日(水)に開催します。

●さいたま市文化センター

ゴダイゴと市内の子どもたちによるジョイントコンサート「ゴダイゴ with さいたまkid's」を9月24日(土)に開催します。また、トリエンナーレの会期末にはタケカワユキヒデ氏による音楽コンサートを予定しています。

●市民会館うらわ

プロ・アマを問わず噺家を公募し「市民落語発表会」を開催します。(10～11月)

●市民会館おおみや

市内の子どもたちによるダンスフェスティバル「さいたま☆キッズダンスフェスタ2016」を開催します。(12月)

●市民会館いわつき

子どもたちが岩槻区内の名所・旧跡等を巡り、歴史や文化を学ぶ「こどもいわつき探訪」を実施するほか、ウレタン人形キットを使った「ウレタン人形づくりと劇遊び」を開催します。
(10～11月)

●プラザイースト

「市民劇団 Liebe」による文部省唱歌「案山子」を題材とした演劇を10月8日(土)・9日(日)に上演します。

●プラザウエスト

プロのジャズピアニストによるジャズピアノ講座を開催するほか、ジャズピアノ発表会を12月3日(土)に実施します。

●プラザノース

さいたま市観光大使で漫画家のあらいたろう氏のプロデュースによる「へのへのもへじ展」を開催します。有名漫画家達が描いた「へのへのもへじ」の展示のほか、来場した市民に「へのへのもへじ」を描いてもらう企画イベントを開催します。また、「未来の発見」をテーマとした「国際漫画フェスティバル」を開催します。

●さいたま市立漫画会館

トリエンナーレのテーマである「未来の発見」をテーマとして、漫画作品の公募展「北沢楽天漫画大賞」を実施します。

●企業等との連携事業

(社福)さいたま市社会福祉事業団との連携・協力による障害者施設を会場としたアートイベントを開催します。

●教育委員会との連携事業

・「小・中・特別支援学校アート展「Dream!～未来の発見～」

児童生徒たちが描いた絵画作品の展覧会で、プラザノースを会場として11月19日(土)・20日(日)に開催します。

・「希望のまち」合唱ムービーの作成

児童生徒たちがそれぞれの場所等で歌う「希望のまち」の映像を組み合わせて1本のムービーを作成し、放映します。

・「希望のまち」合同演奏

児童生徒による「希望のまち」の演奏、合唱会で、文化センター大ホールを会場として11月22日(火)に開催します。指揮は、タケカワユキヒデ氏の予定です。

・「クラス応援旗」の作成・展示

体育祭等で使用するクラス応援旗について、アート作品として作成に取組み、代表作品の展覧会をプラザノースを会場として、11月に開催します。

4 応援事業

さいたまトリエンナーレ2016の趣旨に賛同し、文化の振興や賑わいの創出等に協力・応援していただける各種のイベント等です。

●パートナーシップロゴ事業

市民や文化芸術団体が主催するアートイベント等の事業のチラシやポスターに、さいたまトリエンナーレの応援を意味する「パートナーシップロゴ」を掲載していただくと、トリエンナーレの公式ホームページにてその事業を広くPRします。既に110事業（平成28年6月11日現在）のご協力をいただいています。

●市内応援事業

各区役所や図書館、公民館などで行われている既存の文化事業のうち、トリエンナーレを応援し、賑わいの創出等への協力事業を市内応援事業とします。80件を超える応援事業が実施される予定です。

※上記以外にも、各種団体等のご協力が得られ次第、事業を追加していく予定です。

会場整備状況

● 旧埼玉県立民俗文化センター

会場周辺の樹木剪定の他、会場として最低限必要となる電気設備の復旧を行いました。今後、給排水・衛生設備及び空調・換気設備の修繕を行います。また、アーティストによる作品制作作業が一部開始されています。

● 埼玉県旧部長第2公舎

近日中に、電気設備の復旧、及び間仕切りの修繕工事を行う予定です。工事完了後、作品制作・展示に準備を開始します。

● その他会場

市民会館おおみや地下食堂や大宮区役所地下食堂会場は、壁紙修繕やクリーニング等を行います。

さいたまトリエンナーレ2016運営詳細事項

1 会期

平成28年9月24日(土)～12月11日(日)

2 開場時間

午前10時～午後6時

※但しイベント開催時を除く

3 休館日

会期中の水曜日

4 主な会場呼称(一部調整中)

(1) 与野本町駅～大宮駅周辺エリア

- ・大宮区役所・旧地下食堂(大宮区役所旧地下食堂)
- ・市民会館おおみや・旧地下食堂(市民会館おおみや旧地下食堂)
- ・タカシマヤ・ローズギャラリー(大宮高島屋ローズギャラリー6階、8階踊り場)

(2) 武蔵浦和駅～中浦和駅周辺エリア

- ・旧部長公舎(埼玉県旧部長第2公舎)
- ・花と緑の散歩道(花と緑の散歩道)

(3) 岩槻駅周辺エリア

- ・旧民俗文化センター(旧埼玉県民俗文化センター)

(4) その他

- ・ユナイテッド・シネマ浦和(ユナイテッド・シネマ浦和)

5 内覧会(予定)

平成28年9月22日(木・祝)

午前:関係者内覧会(武蔵浦和駅～中浦和駅エリア、岩槻エリア 会場)

午後:プレス内覧会

夕方:記念レセプション



**実行委員会第5回総会
別添資料(案)
平成27年度事業**

平成28年6月27日

さいたまトリエンナーレ実行委員会

I プレイベントの開催

さいたまトリエンナーレ2016の特色を打ち出しながら、機運醸成に資する事業を実施

- ・見えない関係性を明らかにし、想像力を跳躍させるプロジェクト → ①種は船プロジェクト in さいたま
- ・新たな関係性を紡ぎだすプロジェクト → ②「小沢剛：あなたが誰かを好きのように、誰もが誰かを好き」さいたま版
- ・アーティスト・イン・レジデンスの実践 → ③HomeBase Project SAITAMA 2015
- ・アーティスト・イン・レジデンスへの関心をPR → ④マイクロレジデンス・ネットワークフォーラム2015
- ・さいたまトリエンナーレ2016の魅力を明らかにする取組 → ⑤さいたまトリエンナーレ2016リレートーク

【実績】

①種は船プロジェクト in さいたま

アーティスト日比野克彦氏による、自走式の朝顔の種の形をした船「TANeFUNe」を航行し、立ち寄った土地の人々の記憶にある水辺の思い出を集めてつないでいくプロジェクト

A) T シャツに川の記憶を描くワークショップ&乗船体験

開催日：平成27年8月17日（月）～19日（水）

会場：東京夢の島マリーナ〔江東区〕

各リバーステーション〔江戸川区、葛飾区、北区、戸田市〕

参加者：来場者48人、乗船者30人

B) TANeFUNe 荒川乗船ツアー・戸田リバーステーション

開催日：平成27年8月21日（金）～23日（日）

会場：戸田リバーステーション〔戸田市〕～秋ヶ瀬橋周辺〔さいたま市桜区〕

参加者：来場者34人、乗船者24人（うち、内覧乗船3人含む）

C) 関連トーク「さいたまの水路を巡って」

開催日：平成27年8月23日（日）17:00～19:15

会場：桜環境センター〔さいたま市桜区〕

参加者：来場者45人

D) TANeFUNe 乗船体験

開催日：8月29日（土）・30日（日）

会場：武蔵第六天神社周辺〔さいたま市岩槻区〕

参加者：来場者約200人、乗船者69人



撮影：喜多直人

②「小沢剛：あなたが誰かを好きのように、誰もが誰かを好き」さいたま版

現代美術家小沢剛氏による、100枚以上の布団からなる巨大な山のインスタレーション作品の展示。単に鑑賞するだけでなく、遊びとアートが融合し参加者自身が楽しめるプロジェクト。

開催日：平成27年10月2日（金）～12日（月・祝）

会場：プラザノース〔さいたま市北区〕2Fノースギャラリー8

来場者：3,434人

<関連イベント>

- ・大人だけのおふとん山ナイト！（平成27年10月2日（金）、3日（土）、11日（日））
- ・ナイトトーク1：ふとん山で、さいたまの地形を語り尽くそう（平成27年10月9日（金））
- ・ナイトトーク2：おふとんと芸術祭の未来（平成27年10月10日（土））
- ・ワークショップ「かみぶくろのくにへようこそ」（平成27年10月11日（日））



③HomeBase Project SAITAMA 2015

アーティストが一定期間同じ場所で生活をともにし、創作活動を行い、また、地域との交流を通して、現代の私たちにとって「Home/ホーム」とは何かを考える、移動型の国際アーティスト・イン・レジデンスプロジェクト

アーティスト滞在期間：平成27年10月30日（金）～11月27日（金）

オープン・ハウス（公開）：平成27年11月20日（金）～24日（火）

会場：株式会社東玉社員寮〔さいたま市岩槻区〕

来場者：360人



④マイクロレジデンス・ネットワークフォーラム2015

国内外の「アーティスト・イン・レジデンス（AIR）」に関するディレクター、アーティストを招き、アート、まちづくり、教育などの多分野を横断する活動紹介を行い、さいたま市独自のAIRについて考えるとともに、さらなる国際AIRネットワークの発展を期待するプロジェクト

第1日（全体会）：平成27年11月22日（日）13:00～18:30

国際交流基金日本語教育センター〔さいたま市浦和区〕

参加者：70人

第2日（分科会）：11月23日（月・祝）10:00～13:10

岩槻駅東口コミュニティセンター〔さいたま市岩槻区〕

参加者：81人



⑤さいたまトリエンナーレ2016リレートーク

芹沢高志ディレクターをモデレータとして、さいたまトリエンナーレ2016への期待値を高めるトークイベントを開催

第1回 「参加するトリエンナーレ」

平成28年1月16日（土）コクーンシティ

ゲスト アンドレア・ボンピリオ（MC/ナビゲーター）

参加者 72人

第2回 「アーティストから見るトリエンナーレ」

平成28年3月2日（水）コクーンシティ

ゲスト 大友 良英（参加アーティスト）

参加者 72人

第3回 「国際芸術祭の未来」

平成28年3月19日（日）JPタワー（東京都千代田区）

ゲスト 南條史生（茨城県北芸術祭2016）

帆足亜紀（横浜トリエンナーレ）

港 千尋（あいちトリエンナーレ2016）

参加者 103人



II 広報・PR

1 広報活動

(1) ポスター掲出



ロゴポスター (B2:500部)

掲出時期: 平成28年1月～
 掲出場所: 【市内中心に掲出】
 アートステーション
 公共施設
 文化施設
 商業施設 (SC、書店など)
 ギャラリー
 鉄道駅
 実行委員会委員関係施設
 など



プレイベント等
 ポスター全6種 (B2:各50部)

掲出時期: 平成27年7月～
 掲出場所: アートステーション
 市内公共施設
 市内文化施設
 市外美術館等
 他芸術祭
 各プロジェクト関係先
 市主催イベント など

(2) キービジュアルポスターの作成

- ・キービジュアルとは、さいたまトリエンナーレ2016の考え方や態度を視覚的に伝えるもので、公式広報物や公式ウェブ等に展開
- ・参加アーティスト野口里佳氏 (写真家 見沼区出身) の撮り下ろし
- ・同一イメージを配したチラシを同時制作 (ポスター 2,000部、チラシ 100,000部)



(3) 市内周知用ポスターの作成

- ・ロゴポスターと併せて、トリエンナーレをイメージしやすい内容を掲載したポスターを、主に市内各地で掲示
- ・同一イメージを配したチラシを同時制作 (ポスター 2,000部 チラシ 50,000部)



(4) チラシ配架、配布



概要チラシ (A4 両面:6,000部)

配架時期: 平成27年5月～
 配架場所: アートステーション
 市主催イベント
 (トリエンナーレPRイベント、
 各区区民まつり、のびのびふれ
 あいフェア、鉄道ふれあいフェ
 ア 他)
 など



プレイベント等
 チラシ全6種
 (A3 見開き:各5,000部)

配架時期: 平成27年7月～
 配架場所: アートステーション
 市内公共施設
 市内文化施設
 市外美術館等
 他芸術祭
 各プロジェクト関係先
 市主催イベント など

(5) PR のぼり設置



PR のぼり (30 本)、ミニのぼり (100 本)

(活用方法)

- ・区役所、公共施設での設置
- ・商店街での設置
- ・アートステーションでの設置
- ・イベント時に使用

(6) PR 用クリアファイル (20,000 部)

各種広報物等の配布時に併せて配り、トリエンナーレを PR

(7) さいたま市広報番組「のびのびシティさいたま市」

【タイトル】

注目！さいたまトリエンナーレ

【放送日】

テレビ埼玉

平成 28 年 1 月 3 日 (日) 10 時 45 分～ (15 分間)

〈再放送〉 1 月 10 日 (日) 10 時 45 分～ (15 分間)

※放送終了後、市ホームページ及び YouTube にて動画配信



(8) 新聞広告の掲載

主要紙地域版他にトリエンナーレのコンセプトを伝える広告を出稿

○平成 28 年 2 月 27 日読売新聞地域版



○平成 28 年 3 月 9 日埼玉新聞



(6) さいたまアートステーションでのトリエンナーレPR



さいたまアートステーション

「さいたまトリエンナーレ2016」をはじめとするさいたま市の文化芸術に関する情報発信拠点
平成27年度来訪者1,402人（平成27年7月のオープン以来の累計。関係者を除く。ワークショップ参加者を含む）

【開所日】平成27年7月20日

【住所】さいたま市浦和区高砂2-8-9 ナカギンザビル

【開館時間】13:00～19:00

【開館日】火曜日・金曜日・日曜日（年末年始を除く）

○イベントの開催

- ・ディレクタートーク&種は船プロジェクト in さいたま 船長トーク（平成27年8月6日）
- ・Tシャツに川の記憶を描くワークショップ（平成27年8月17日～19日）
- ・Tシャツメンテナンスワークショップ（平成27年8月17日～19日）
- ・サポーターガイダンスミーティング（平成27年9月9日）
- ・アーティストトーク（オクイ・ララ氏 平成28年3月30日）

○ワークショップの開催

- ・原則、毎週日曜日の午後で開催（平成27年度24回 参加者281名）
- ・身近な物を使って、来場者と一緒で開催テーマやさいたま市などに関連する制作活動を実施



（11月29日開催「さいたまの形、さいかくにん」
ワークショップ風景）

(7) 市主催イベント（区民まつりなど）、市役所等でのPR



コープみらいフェスタ in スーパーアリーナ
（平成27年11月3日）





見沼区ふれあいフェア
（平成27年11月7日）



浦和区民まつり
（平成27年11月1日）

2 記者会見・プレスリリース

(1) 記者会見

開催日	内容
平成 27 年 3 月 25 日	<p>開催計画発表会 [国際交流基金 JFIC ホール「さくら」] ○開催計画、ロゴマーク 【参加プレス】57 名 (36 社)</p> 
平成 28 年 3 月 25 日	<p>記者発表会[日本外国特派員協会] ○開催概要、参加アーティスト 【参加プレス】51 名 (26 社)</p> <p>PR グッズとして、参加アーティストのイラストを配したトートバッグを制作、参加者に配付</p> 

(2) プレスリリース・メールニュース

リリース日	区分	内 容
平成 27 年 3 月 25 日	プレスリリース (vol. 1)	開催概要、事業構成、イベント、開催エリア、ロゴなど開催計画内容
平成 27 年 7 月 21 日	メールニュース	さいたまトリエンナーレ 2016 イベント開催のご案内 ・種は船プロジェクト in さいたま
平成 27 年 9 月 15 日	メールニュース	さいたまトリエンナーレ 2016 イベント開催のご案内 ・「小沢剛：あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き」さいたま版
平成 27 年 10 月 6 日	プレスリリース (vol. 2)	第 1 弾参加アーティストの発表、イベントのご案内
平成 27 年 11 月 10 日	メールニュース	さいたまトリエンナーレ 2016 イベント開催のご案内 ・HomeBase Project SAITAMA 2015 ・マイクロレジデンス・ネットワークフォーラム 2015
平成 27 年 12 月 21 日	メールニュース	さいたまトリエンナーレ 2016 イベント開催のご案内 ・さいたまトリエンナーレ 2016 リレートーク
平成 28 年 2 月 12 日	メールニュース	さいたまトリエンナーレ 2016 イベント開催のご案内 ・さいたまトリエンナーレ 2016 リレートーク第 2 回
平成 28 年 3 月 25 日	プレスリリース (Vol. 3)	開催内容 (事業展開、参加アーティスト、プロジェクト概要、キービジュアル等)

<配信先>

- ・テレビ関係 (69 人)・・・在京テレビ局のニュースや情報番組、番組制作会社など
- ・ラジオ関係 (10 人)・・・FM局など
- ・新聞・通信社 (91 人)・・・新聞社の編集局、主要通信社の文化部、専門誌など
- ・アート系メディア (48 人)・・・美術記者会、美術誌、アートサイトなど
- ・アート系フリーライター (76 人)・・・メディアにアート関係の記事を寄稿するライターなど
- ・アート系評論家・専門家 (9 人)・・・美術評論家や研究者など
- ・一般系メディア (85 人)・・・週刊誌、女性誌、男性誌、経済誌の編集部など
- ・カルチャー系メディア (38 人)・・・カルチャー誌、カルチャーサイトなど
- ・外国語メディア (17 人)
- ・建築系メディア (17 人)
- ・旅系メディア (21 人)

- ・地元メディア (21人)
- ・ウェブニュース (20人)
- ・音楽・ダンス系メディア (20人)

(3) パブリシティ実績 (暫定値)

平成26年4月から平成28年3月までの間に、埼玉県内を中心として、新聞・雑誌・テレビ・ウェブなどの各種メディアで情報が発信され、**246件**の掲載・放送があった。

種別	件数
新聞	72
雑誌・フリーペーパーなど	20
テレビ	23
ラジオ	3
ウェブサイト	128
計	246

主な新聞報道

- ・アート情報発信 浦和に拠点 トリエンナーレPR (平成27年7月24日・埼玉新聞)
- ・イベントで種形の船が出航 来年のトリエンナーレ (平成27年8月22日・朝日新聞)
- ・サポーター確保へ浦和区で説明会 (平成27年9月11日・埼玉新聞)
- ・遊び疲れて寝ちゃいそう (平成27年10月3日・読売新聞)
- ・アートがまちにやってくる あと1年 上 現代アート国際展、各地で開催 (平成27年11月14日・朝日新聞)
- ・アートがまちにやってくる あと1年 下 イベント続々、盛り上げが力 (平成27年11月15日・朝日新聞)
- ・朝食一緒にアート トリエンナーレ・イベント (平成27年11月24日・朝日新聞)
- ・アートクルーズ 地元の人を巻き込んで一緒につくる 大友良英 さいたまトリエンナーレに出展 (平成28年1月3日・産経エクспレス)
- ・さいたまトリエンナーレ参加者など全容発表「アートで見慣れた風景変える」 (平成28年3月25日 産経新聞)

3 ホームページ・SNS

(1) 公式ウェブサイト



構成：開催概要、コンセプト、アーティスト、ニュース、イベント、レポート、プレス、コンタクト

開設日：平成27年3月25日

投稿ニュース数：33本

総閲覧数 (平成27年3月～平成28年3月)：

61,090件 (37,128ユーザー)

平均サイト滞在時間：2分18秒

直帰率：48.43%

(2) フェイスブック



イベント情報 (開催報告含む) などトリエンナーレ最新情報を随時発信

開設日：平成27年7月21日

投稿件数：77件

いいね!数 (3月31日)：1,059件

(3) ツイッター



イベント情報などトリエンナーレ最新情報を随時発信

開設日：平成27年7月21日

ツイート数：42

フォロワー数：231

III サポーター

「共につくる、参加する芸術祭」として、サポーターの存在は核。
平成28年3月から、「ボランティアシティさいたまWeb」を活用
して、トリエンナーレサポーターを募集

登録者数 181名 (3月31日まで)

※ (参考) 平成28年5月31日現在 377名

